

議決権御所有の株主各位

 東京都千代田区丸の内二丁目 6 番 1 号
 日本製鉄株式会社
 代表取締役会長 兼 CEO 橋本 英二

「第 101 回定時株主総会招集御通知」の一部修正について

拝啓 平素は格別の御支援を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、当社「第 101 回定時株主総会招集御通知」の記載に一部誤りがございましたので、謹んでお詫び申しあげますとともに、下記の通り修正させていただきます。

敬具

記

1. 修正箇所

- (1) 第 101 回定時株主総会招集御通知 48 頁
 「第 100 期事業報告」 1. 当社グループの現況に関する事項 (5) 財産及び損益等の状況の推移
- (2) 第 101 回定時株主総会招集御通知 62 頁
 「第 100 期事業報告」 3. 会社役員に関する事項 (4) 社外役員に関する事項 ② 主な活動状況

2. 修正内容（修正箇所に下線を付しております。）

- (1) 第 101 回定時株主総会招集御通知 48 頁

<修正前>

区分 \ 事業年度	第 97 期	第 98 期	第 99 期	第 100 期 (当期)
生産高 粗鋼 (万トン)	4,446	4,032	4,051	3,964
売上収益 (億円) (内、海外売上収益)	68,088 (27,070)	79,755 (32,398)	88,680 (34,166)	86,955 (33,884)
事業利益 (億円)	9,381	9,164	8,696	6,832
親会社の所有者に 帰属する当期利益 (億円)	6,373	6,940	5,493	3,502
資産合計 (億円)	87,523	95,670	107,146	109,424
親会社の所有者に 帰属する持分 (億円)	34,667	41,811	47,777	53,833
基本的 1 株当たり当期利益	692 円 16 銭	753 円 66 銭	596 円 59 銭	350 円 92 銭
1 株当たり親会社所有者 帰属持分	3,764 円 69 銭	4,540 円 59 銭	5,187 円 32 銭	5,150 円 56 銭
1 株当たり配当額 (内、1 株当たり中間配当額)	160 円 (70 円)	180 円 (90 円)	160 円 (75 円)	※160 円 (80 円)
連結配当性向 (%)	23.1	23.9	26.8	※45.6

- (注1) 会社計算規則第120条第1項の規定により、国際会計基準（IFRS）に従って連結計算書類を作成している。
- (注2) 粗鋼生産高は、当社の生産高に連結子会社の生産高を加えた数値である。
- (注3) 事業利益とは、持続的な事業活動の成果を表し、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する連結経営業績の代表的指標であり、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費、並びにその他費用を控除し、持分法による投資利益及びその他収益を加えたものである。その他収益及びその他費用は、受取配当金、為替差損益、固定資産除却損等から構成されている。
- (注4) ※印は、第101回定時株主総会において、期末の剰余金配当議案が原案どおり可決された場合の数値である。

<修正後>

区分	事業年度	第97期	第98期	第99期	第100期 (当期)
生産高 粗鋼	(万トン)	4,446	4,032	4,051	3,964
売上収益 (内、海外売上収益)	(億円)	68,088 (27,070)	79,755 (32,398)	88,680 (35,812)	86,955 (35,857)
事業利益	(億円)	9,381	9,164	8,696	6,832
親会社の所有者に 帰属する当期利益	(億円)	6,373	6,940	5,493	3,502
資産合計	(億円)	87,523	95,670	107,146	109,424
親会社の所有者に 帰属する持分	(億円)	34,667	41,811	47,777	53,833
基本的1株当たり当期利益		692円16銭	753円66銭	596円59銭	350円92銭
1株当たり親会社所有者 帰属持分		3,764円69銭	4,540円59銭	5,187円32銭	5,150円56銭
1株当たり配当額 (内、1株当たり中間配当額)		160円 (70円)	180円 (90円)	160円 (75円)	※160円 (80円)
連結配当性向	(%)	23.1	23.9	26.8	※45.6

- (注1) 会社計算規則第120条第1項の規定により、国際会計基準（IFRS）に従って連結計算書類を作成している。
- (注2) 粗鋼生産高は、当社の生産高に連結子会社の生産高を加えた数値である。
- (注3) 事業利益とは、持続的な事業活動の成果を表し、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する連結経営業績の代表的指標であり、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費、並びにその他費用を控除し、持分法による投資利益及びその他収益を加えたものである。その他収益及びその他費用は、受取配当金、為替差損益、固定資産除却損等から構成されている。
- (注4) ※印は、第101回定時株主総会において、期末の剰余金配当議案が原案どおり可決された場合の数値である。

(2) 第101回定時株主総会招集御通知 62頁

<修正前>

区分	氏名	主な活動状況
監査等委員である取締役	平松 賢司	同氏は、取締役会、監査等委員会及び役員人事・報酬会議に出席し、また、主要な製鉄所等への実地調査を行うなど各部門の業務執行状況について聴取し、これらの場において国際情勢・経済・文化等に関する知見・経験も踏まえた発言を行い、取締役会において議決権を行使しています。また、同氏を含む社外取締役は、会長・社長等と定期的な会合を開き、経営課題の共有化や意見交換を行っています。同氏は、これらの活動等を通じて、取締役会における多様な視点からの意思決定、経営に対する監査・監督機能の充実、経営の透明性の確保等に寄与してお

		り、社外取締役として期待される役割を適切に果たしています。 取締役会出席率 93% (13 回/14 回) 監査等委員会出席率 100% (11 回/11 回) 役員人事・報酬会議出席率 100% (<u>3 回/3 回</u>)
--	--	--

<修正後>

区分	氏名	主な活動状況
監査等委員である取締役	平 松 賢 司	同氏は、取締役会、監査等委員会及び役員人事・報酬会議に出席し、また、主要な製鉄所等への実地調査を行うなど各部門の業務執行状況について聴取し、これらの場において国際情勢・経済・文化等に関する知見・経験も踏まえた発言を行い、取締役会において議決権を行使しています。また、同氏を含む社外取締役は、会長・社長等と定期的な会合を開き、経営課題の共有化や意見交換を行っています。同氏は、これらの活動等を通じて、取締役会における多様な視点からの意思決定、経営に対する監査・監督機能の充実、経営の透明性の確保等に寄与しており、社外取締役として期待される役割を適切に果たしています。 取締役会出席率 93% (13 回/14 回) 監査等委員会出席率 100% (11 回/11 回) 役員人事・報酬会議出席率 100% (<u>2 回/2 回</u>)

以 上